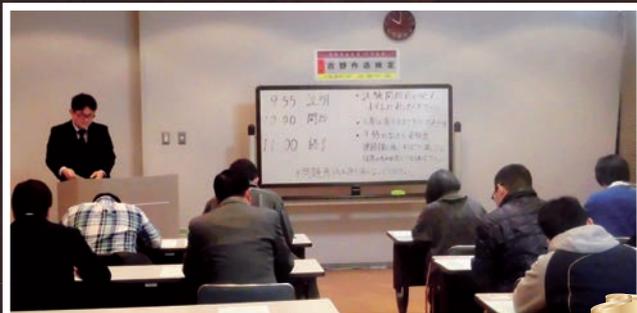




吉野作造記念館だより

2017(平成29)年度事業報告(2017.4~2018.3)(編集・発行) 特定非営利活動法人 古川学人

▼第1回「吉野作造検定」実施! (1月28日)



▼生誕記念イベント (1月29日)

初めて十日町の生家跡で生誕イベントを開催。
アニメ風吉野作造等身大パネルもお披露目。



吉野作造生誕140年



記念の新企画・イベントを開催

▲さとう宗幸さんご来館! (2月16日)
21日のミヤギテレビ「OH!バンドス」で吉野作造を紹介。
吉野作造検定にも挑戦しました!



▲生誕記念イベント(1月28日)
「シン王子」栗野敏夫さんの歌謡ショー。

目次

吉野作造生誕140年イベント	1
2018年度の行事予定	2
2017年度行事・寄贈資料一覧	3
2017年度企画展	4
ミニ企画展/市民交流事業	6
2017年度吉野作造市民大学	8
その他講座・講演会など	10
市内小中学校への教育普及	11
2017年度 NPO 法人古川学人事業	13
ヤングジャパン応援事業	14
健康増進/まちカル事業	15
被災地支援事業	16
キッズ教育支援事業	17
シティズンシップ普及事業	18
研究会・学会等の受け入れ事業	20
アンケート	21
記念館利用状況	22
第5回吉野作造研究賞/人材育成研修会	23
高校生デモクラシー塾他	24

2018年1月29日は、吉野作造生誕140年の節目となりました。前日28日には記念館で生誕記念イベントとして、美里町でシンの生産・加工販売を営みながら「シン王子」の愛称で歌手として活躍する栗野敏夫さんの歌謡ショーと、氏家仁館長の記念講演会を開催しました。

来場者数・71名
29日には古川十日町の吉野作造生家跡(ボケックパーク)でイベントを開催。餅つき、餅まきなどが行われ、吉野が好んだとされる甘味(おしるこ)やおでんが来訪者にふるまわれました。隣接する幸福十番館では、シナプス40、ハッピーート大崎など市内NPOの紹介ブースが設けられた他、本の交換会も行われました。

第1回吉野作造検定(1月28日)

来場者数・104名
生誕140年を記念する新企画として、吉野作造に関する知識を問う「吉野作造検定」を実施しました。第1回は入門レベルとして、基礎的な問題を中心に出題。11名がチャレンジ、6名が合格し、満点は2名でした。

2018年度の

(平成30年度) 2018.4～2019.3

行事案内

4月～3月 吉野作造基礎講座(第16回)★

吉野作造の文章を読んでみよう

講師：氏家仁館長

5月3日 憲法記念日講演会 ★

講師：平地秀哉氏(國學院大學法学部教授)

5月4日 GWイベント

楽しいコンサートや
工作コーナー

5月11日・12日

あなたを、忘れない

一こころをむすぶコンサート

出演：土田英順氏(チェロ奏者)
(11日) 古川中学校
(12日) 吉野作造記念館

5月27日～8月5日 前期企画展

「働く人の権利を求めて」(6月) 記念講演会 ★

6月23日 郷土史講座 ★

岩出山時代の伊達政宗

講師：佐藤憲一氏(元仙台市博物館館長)

7月、1月(2回開催)★

1から学ぶ! 吉野作造講座

講師：小嶋翔研究員

吉野作造の生涯や主な業績、時代背景などを分かりやすく解説。吉野作造市民大学講座の入門編。

7月下旬～8月上旬

夏休み自由研究サポートし隊!

8月31日～9月2日 第12回吉野ネット

ワーク交流事業人材育成研修会 ★

若手研究者・学生の人材育成と吉野博士を通じた人的ネットワーク構築を目的とした研修会。

10月～11月 美術教室

10月7日～12月4日 写真展

「櫻井一郎が見た満州」

11月 読売・吉野作造賞受賞者講演会★

12月16日 クリスマス会



1月6日～3月17日 後期企画展

「女性も選挙に」

(時期未定) 記念講演会 ★

1月29日 吉野作造生誕記念イベント

2月～3月 歴史講座 ★

講師：後藤彰信氏

※日程・内容等は変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

※★がついた行事は、市民大学の対象講座です。

新企画のご案内

出張「吉野作造巡回展」

学校の教室や掲示板など、空きスペースを活用して吉野作造の展示をしてみませんか? お申込み後、日程や展示方法など、詳しい打合せをさせていただきます。

- 対象 大崎市内の小・中・高校
- 申込 吉野作造記念館まで(電話0229-23-7100)

高校紹介展・回顧展

大崎市内の高校の歴史や取り組みなどを当館の展示ブースを使って紹介する「高校紹介」展を開催します。

- 対象 大崎市内の高校
- 申込 吉野作造記念館まで(電話0229-23-7100)

吉野作造記念館回数券

YOSHIKA 発売開始

YOSHIKA(ヨシカ)は吉野作造記念館の前売入館券です。ご家族、ご友人、会社の方への贈答用など、幅広くご利用ください。

- 6枚綴り1,500円(税込) ※1枚あたり250円
- 常設展・企画展どちらもご覧いただけます。
- 他の割引との併用はできません。
- 当館受付での窓口販売のみとなります。
- 購入当日のご利用はできません。
- 有効期限：2022年3月31日

2017年度の記念館行事・出前講座一覧

※NPO法人古川学人事業→P13

2017 (平成29年)	4/1~9/16	ミニ企画展「世界の民主主義」	5,869名
	4/17	古川中学校開校記念講演会 (講師：氏家仁当館館長、会場：古川中学校)	193名
	4/23	1から学ぶ！吉野作造入門講座 (講師：小嶋翔当館研究員) 市民大学講座①	26名
	4/30	GWイベント	540名
	5/3	憲法記念日講演会 (講師：中林曉生氏) 市民大学講座②	58名
	5/7,7/2, 9/3,10/1	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」全4回 (講師：氏家仁当館館長) 市民大学講座③	63名
	5/28~8/6	前期企画展「子育ての昔と今」	1,567名
	5/28	前期企画展オープニングシンポジウム 「これからの子育てをどのようにするのか？」 (パネリスト：波多野ゆか氏、村上吉宣氏、君島智子氏ほか) 市民大学講座④	39名
	6/3,6/17	歴史講座「伊達政宗生誕450年を記念して」全2回 (講師：佐藤憲一氏) 市民大学講座⑤	84名
	7/4,7/5	古川中学校2年生職場体験実習	3名
	7/9	市民講座「お米の品種開発最前線」 (講師：永野邦明氏) 市民大学講座⑥	17名
	9/8~9/10	第11回吉野ネットワーク人材育成研修会 市民大学講座⑦	134名
	9/12~9/16	博物館実習	2名
	9/17~	ミニ企画展「絵と写真で見るモダン文化」	5,123名
	9/26	古川中学校ドリームキャリアセッションにて氏家仁当館館長が講話(会場：古川中学校)	11名
	10/8~12/28	後期企画展「90年前の清き一票～普通選挙のはじまり～」	2,286名
	10/12~	ミニ写真展「明治～昭和の古川の風景」	5,074名
10/20	池月小学校見学	59名	
10/21,11/18	市民講座「いのちは宝物」 (講師：若見朝子氏) 市民大学講座⑧	13名	
11/2,11/9	仙台市民図書館・吉野作造記念館連携講座「みやぎの思想と文学」(講師：小嶋翔当館研究員、三條望氏、会場：せんだいメディアテーク)	90名	

2018年 (平成30年)	11/3	読売・吉野作造賞受賞者講演会 (講師：篠田英朗氏) 市民大学講座⑨	33名
	11/19	第5回吉野作造研究賞表彰式 (受賞：小島秀信氏、小野寺研太氏) 市民大学講座⑩	18名
	11/26	即興パフォーマンス集団ロクデム公演 (主催：ロクデム大崎ライブ実行委員会)	90名
	11/29	古川第三小学校6年生職場体験	4名
	12/2	後期企画展記念講演「18歳選挙権と政治教育」 (講師：小玉重夫氏) 市民大学講座⑪	22名
	12/3,1/7, 2/4,3/4	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう(2)」 全4回(講師：氏家仁当館館長) 市民大学講座⑫	55名
	12/17	クリスマス会	547名
	1/14	1から学ぶ！吉野作造入門講座 in 大崎市図書館 (講師：小嶋翔当館研究員) 市民大学講座⑬	19名
	1/16~1/26	移動展「みやぎの先人大集合～宮城県の未来への懸け橋～ 吉野作造と千葉亀雄」(会場：美里町近代文学館)	195名
	1/28	第1回吉野作造検定	11名
	1/28	吉野作造生誕140年記念イベント(出演：粟野敏夫氏)	71名
	1/28~4/8	特別企画展「みやぎの先人大集合～宮城県の未来への懸け橋～ 吉野作造と千葉亀雄～」	1,537名
	1/29	吉野作造生家跡で吉野作造生誕140年記念イベント	104名
	1/30	古川東ロータリークラブ講演「人づくり・地域づくりに向けた吉野作造記念館のとりくみ」 (講師：氏家仁当館館長、会場：芙蓉閣 [大崎市古川])	25名
	2/7	古川中学校ドリームキャリアセッションにて氏家仁当館館長が講話(会場：古川中学校)	15名
	2/20	大崎倫理法人会講演 (講師：氏家仁当館館長、会場：芙蓉閣 [大崎市古川])	40名
	2/20	宮城いきいき学園大崎校講座 (講師：氏家仁当館館長、会場：大崎生涯学習センター)	36名
2/24,3/10	講座「宮城県の社会運動と吉野作造」全2回 (講師：後藤彰信氏) 市民大学講座⑭	38名	
3/17	「50年前の古川の街を再現しよう!!」写真募集 (主催：未来クエスト×スクエア)	10名	

寄贈資料一覧

(平成29年3月～平成30年3月)

多くの皆様のご厚意により貴重な資料をご寄贈いただいております。厚く御礼申し上げます。

「順不同」
「敬称略」

- 金山喜昭「博物館と地方再生―市民・自治体・企業・地域との連携―」……… 金山 喜昭氏
- 井上ひさし・つかこうへい『国ゆたかにして義を忘れ』……… 井上事務所・河出書房新社
- 井上ひさし・井上綾「井上ひさしから、娘へ―57通の往復書簡―」……… 井上 綾氏
- 田中輝和「憲法制定と日本人―鈴木義男を中心として―(公開シンポジウムを経て)」(抜刷)
- 『東北大学附属図書館調査研究室年報』第4号 …… 田中 輝和氏
- 井上ひさし「ムサシ」・井上ひさし氏名刺 …… 菅根原 理氏
- 磯部卓三・栗原理「愛の教育者 鶴虎太郎」 …… 菅原 暢子氏
- 『郷土たじり』第39号 …… 磯部 卓三氏・栗原 理氏
- 『Voters』Vol. 37～42 …… 田尻郷土研究会
- 『尚友ブックレット32 貴族院研究会の領袖 水野直日記』 …… 公益財団法人明るい選挙推進協会
- 『大崎市立古川中学校 創立70周年記念誌』 …… 古川中学校創立70周年記念事業実行委員会
- 『三輪建二「祖父三輪寿壮 大衆と歩んだ信念の政治家」』 …… 三輪 建二氏
- 『初期社会主義研究』第27号 …… 後藤 彰信氏
- 『東大YMCA会報』第148号 …… 宮田 光雄氏
- 『東大YMCA会報』第149号 …… 宮田 光雄氏
- 『エルンスト・カッシーラー著・宮田光雄訳「国家の神話」』 …… 宮田 光雄氏
- 『東大YMCA会報』第148号 …… 東京大学学生キリスト教青年会
- 大和田雅人『憲法とみやぎ人―草の根デモクラシーのバトンリレー―』 …… 大和田雅人氏
- 篠田英朗『集団的自衛権の思想史』 …… 中央公論新社
- 三浦進『明治の革命 自由民権運動』 …… 三浦 進氏
- 『在日本韓国YMCA110年のあゆみ』 …… 在日本韓国YMCA
- 小林司・萩原洋子『日本エスプレント運動の裏街道を漫歩する―
「人物」がつづる運動の歴史』 …… 萩原 洋子氏
- 竹葉文(編著)『異郷のモダンリズム―満洲写真全史―』 …… 名古屋美術館
- 江水是仁『博物館学芸員課程における学びの特徴と現代社会に対応した
学芸員養成教育に関する研究』 …… 江水 是仁氏
- 『吉野作造通信』19号 …… 永澤 汪恭氏
- 『葉菜山』第1～4号 …… 大崎 能正氏
- 『みやぎの先人集第二集「未来への架け橋」』 …… 宮城県教育庁義務教育課
- 田澤晴子「吉野作造と柳田国男―大正デモクラシーが生んだ「在野の精神」―」 …… 田澤晴子氏・ミネルヴァ書房
- 『吉野作造「政治史」講義録(1920(大正9)年度・服部英太郎筆記版翻刻)』 …… 仙台翻刻の会
- 『吉野作造「政治史」講義録』 …… 吉野作造「政治史」講義録

2017年度
企画展

子育ての昔と今

5月28日～8月6日

■ 共 催 ■
学校法人吉野学園

■ 後 援 ■
大 崎 市
大崎市教育委員会



近年、子育てをめぐる社会環境の悪化が知られるようになりました。子どもの貧困、待機児童、一人親家庭、教育機会の不平等などです。そうした問題のルーツはどこにあるのでしょうか。平成29年度前期企画展「子育ての昔と今」では、明治・大正から戦後まで、日本の子育ての文化をたどりました。

明治時代以降、子どもの人格や個性を大切に育てることが少しずつ重んじられるようになり、「赤い鳥運動」と呼ばれる児童文学のムーブ

メントが起こり、宮城県でも地域の児童文学雑誌『おてんとさん』が創刊されるなど、子どもの文化が急速に広まりました。子どもの人格を尊重することは、やがて教育を受ける権利などのいわゆる「子どもの権利」の考え方を生み出します。政治学者だった作造も、そうした時代に生きる一人の父親でした。一男六女の子どもの恵まれた作造は、子どもたちの自由な人性選択を尊重する教育をしました。大正デモクラシーのリーダーだった作造は、家庭でも民主主義者だったのです。

大正時代も後半になると、都市化の進展や長期の経済不況のために、児童福祉が重要な政治問題になりました。乳幼児のための教育施設、保育施設などが、官民を問わず設立されるようになります。作造が東京帝国大学YMC Aの理事長として設立に関わった医療団体・賛育会は、低所得で共働きの工場労働者が多い地域で、母子を保護するため

の託児所付きの産院でした。賛育会病院は現在も東京の墨田区で地域医療を支える総合病院として続いています。

また、宮城県の幼児教育に先鞭をつけた人物に、作造の姪にあたる吉野みよしがいます。作造と同じくクリスチャンだったみよしは、1931年（昭和6）に若柳幼稚園を設立、これは現在でも若柳よしの幼稚園として、地域の幼児教育を支えています。

歴史を振り返ると、現在の私たちが抱えている子育ての問題の多くは、作造が生きた



時代に始まっていることがわかります。子育ての環境作りを、誰が、どう担っていくのかは、大正デモクラシーの時代からの宿題でもあるのです。

来場者数…1,567名

関連記事

・自主映画上映会 ↓ P 16

.....

前期企画展OP
シンポジウム

「これからの子育てを
どのようにするのか？」

共催 NPO法人シナプス40

5月28日



企画展「子育ての昔と今」に関連したこの市民シンポジウムでは、専門が異なるパネリスト3氏をお招きし、特に宮城県地域を中心とした現在の子育てをめぐる様々な問題を考えました。

報告はそれぞれ波多野ゆか氏（親業訓練インストラクター）「今、なぜ「親の学び」が必要とされているのか？」、村上吉宣氏（全国父子家庭支援ネットワーク代表理事）「現代社会における育児に関する男女役割のイメージもたらす諸問題」すべての人の生きづらさに根ざすもの、「君島智子氏（東北福祉大学助教）「小・中学校の相談支援から視る子どもたちの現在」の3つで、その後、大崎市で教育支援の活動を行っているNPO法人シナプス40代表理事の千葉繁美氏が、コメントーターとして各報告に対する質問を行いました。

来場者からは、一口に子育ての問題と言っても、実際には様々な問題があることを知ることができたという感想が出るなど、登壇者・参加者の間で子育てをめぐる様々な問題について、理解を深めることができました。

来場者数…39名

2017年度
企画展

90年前の清き一票

〜普通選挙のはじまり〜

10月8日〜12月28日

■後援■
 公益財団法人
 明るい選挙推進協会
 宮城県選挙管理委員会
 宮城県教育委員会
 大崎市
 大崎市教育委員会



2016年7月、18歳選挙権導入後初の国政選挙が実施されました。新たに有権者となる若者たちに、選挙の意義や主権者としての意識を伝えるべく、各地でさまざまな取り組みが行われたのは記憶に新しいところです。

今から約90年前にも、日本は画期的な選挙権拡大を経験しています。1928年（昭和3）2月20日に行われた衆議院選挙（第1回普通選挙）は、長くあった納税額による選挙権の制限を廃し、25歳以

上の男子ほぼ全員が選挙権を得ました。前回選挙の4倍、約1200万人の有権者の大多数は、初めて投票に臨む人びとでした。

企画展「90年前の清き一票〜普通選挙のはじまり〜」は、この第1回普通選挙の有権者たちの足跡をたどりながら、わたしたちの持つ一票の意味について考えてみることをテーマに開催しました。

展示資料は主に、選挙ビラやポスター、そして選挙戦の様子を報じた新聞・雑誌など計87点です。報道写真からは、選挙ポスターで埋め尽くされた街や、投票箱づくりに追われる工場の様子など、かつてない大きな選挙に沸く日本の様子が伝わってきます。

第1回普通選挙当時、旧古川町を含む宮城県第1区では、9人の候補者が争いました。今回は大崎市の橋平酒造店旧蔵の、当時の貴重な選挙資料を一挙公開しました。その他、まだ選挙権がなかった女性たちの参政権獲得運動に



関する資料も展示しました。

普通選挙実現に尽力した吉野作造は、投票とは国家という団体生活の中で各個人が良心に従って積極的に自分の責任を果たすことであり、それができる地位の保証こそが選挙権要求の根拠だと主張しました。そして有権者に必要なのは特別な知識などではなく、誠実に務めを果たすという、日常生活と同じ道徳心だとも語っています。

また、新しい有権者に選挙のしくみや意義を教える政治

教育の必要が説かれ、「普通選挙の常識」などといった書籍が数多く出版されました。政治家の後藤新平により、政治道徳を普及し選挙不正をなくそうという政治倫理化運動が提唱されたのもこの頃です。展示ではこうした、より良い選挙を求める歴史的な動きについても取り上げました。

開催期間が10月22日の衆議院および宮城県知事選挙と重なったこともあり、選挙啓発のイベント・ポスター掲示なども行いました。

来場者数：2,286名

関連記事

・高等学校での主権者教育

↓P 18

・選挙フォーラム

↓P 20

.....

後期企画展記念講演

「18歳選挙権と政治教育」

講師 小玉重夫氏

12月2日

企画展の開催を記念し、東京大学大学院教育学研究科教授の小玉重夫先生をお迎えしました。小玉先生は教育学・教育思想史がご専門で、日本学術会議、総務省主催の有識者会議である常時啓発事



来場者数：22名

業のあり方等研究会などの委員として、高等学校での主権者教育、新科目「公共」の設置を含む学習指導要領改定に関する提言を行い、主権者教育に関わる国の指針決定に深く携わってこられました。

講演では、政治と切り離されてきた戦後日本の学校教育が、現在積極的に政治に関する教育を行う方向で見直されている歴史的経緯、また主権者教育の目指すべきものや、学校における現状と課題についても語られました。

本講演会は、NPO法人古川学人事業「高校生デモクラシー塾」の第1回講座でもあり、受講生1名が参加しました。

宮城県教育委員会が推進する「志教育」のための副教材『みやぎの先人集第二集「未来への架け橋」』に吉野作造が取り上げられることから、吉野を含め同教材に掲載される先人たちを紹介する企画展を開催しました。

第1回となる今回は、美里町近代文学館との協力で、美里町出身のジャーナリストで大衆文学の生みの親として知られる千葉亀雄とのコラボ展



特別企画展
みやぎの先人大集合!!
〜宮城県の未来への懸け橋〜 吉野作造と千葉亀雄
1月28日〜4月8日 (観覧無料)

主催…大崎市教育委員会／美里町教育委員会
後援…宮城県教育委員会
主幹…吉野作造記念館／美里町近代文学館



示となりました。吉野と千葉は、共に宮城県尋常中学校（現・仙台一高）の同窓で、大正デモクラシーの時代に東京で言論人として活躍しました。展示では二人の直筆原稿など、中学校時代の二人の文学活動から東京での活躍を示す歴史資料を展示しています。

また開催に先立つ1月16〜26日には、美里町近代文学館でも展示会があり、1月20日には同館で公開シンポジウム

『みやぎの先人集第二集「未来への架け橋」』が3月に発行されました。吉野作造をはじめ、大正・昭和時代を中心に様々な分野で活躍した県内各地の先人30人が紹介されています。当館も作成に協力しました。吉野の他、千葉亀雄、永澤才吉など吉野ゆかりの人物や大崎市ゆかりの人物も紹介されています。



宮城県副教材
『みやぎの先人集第二集』に吉野作造が掲載

「千葉亀雄に関する所感」が開催されました。そして2018年1月28日の吉野作造生誕140年記念イベントでは、当館の氏家仁館長が「先人教育へのいざない〜吉野作造と千葉亀雄先人展に寄せて〜」と題して記念講演を行い、ふたりの思想と業績を伝え、教育に活かす意義を呼びかけました。

来場者数…1、655名

記念館廊下で、吉野作造が活躍した大正時代のモダン文化を紹介するパネルを展示しています。大正モダン文化を象徴するのは、乗合バスなど自動車の普及、モダンガールなど女性の新しいファッション、西洋風の軽食や飲み物を提供するカフェなどです。展示では、当時の絵はがきや女性誌のイラスト・写真から、大正・昭和のモダンな文化を紹介しています。また、展示

ミニ企画展
「絵と写真で見るモダン文化」
9月17日 (観覧無料)

民主主義と一口に言っても、代表の選び方、政策の決め方、その政策がどのように実行されるかなど、そのあり様は国によって様々です。この展示では、世界の国々がどのように民主主義の政治を行い、守り、育てているかを紹介しました。

来場者数…5、869名

ミニ企画展
「世界の民主主義」
4月1日〜9月16日 (観覧無料)

吉野作造が幼少期を過ごした明治期から、懐かしい昭和の終わりごろまでの貴重な写真を展示しました。

来場者数…5、074名
(2018年3月31日現在)

※昔の古川の写真を募集・展示するプロジェクト(主催…未来クエスト×スクエア)に、記念館も協力しています。

第1回募集…2018年3月17日

ミニ企画展
「明治〜昭和の古川の風景」
10月12日 (観覧無料)

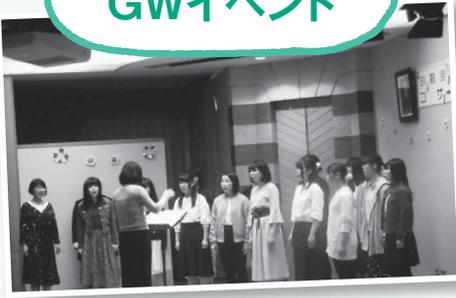


を見て答える「大正モダンクイズ」もあり、回答された方にはもれなく記念品を進呈しています。2018年度も引き続き展示中です。

来場者数…5、123名
(2018年3月31日現在)

4月30日

GWイベント



4月30日の開催となった2017年のゴールデンウィークイベントでは、色画用紙を使ったオリジナルこいのぼり作りや、輪ゴム銃づくり（協力：NPO法人シナプス40）、夢や目標を書いたかぶとカードづくりなどの工作のほか、つりぼり、あそびコーナーなどが開かれました。

ステージでは、古川高校合唱部の皆さんによるコンサート、大型紙しばい、クイズが行われました。

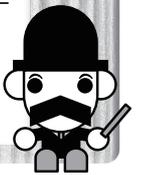
記念館前では、前期企画展「子育ての昔と今」プレイベントとして、子育て支援フリーマーケットを開催。また、NPO法人シナプス40の協力により、不要本・絵本・CD・DVDの交換会も開かれました。

ラウンジでは、NPO法人ハッピーート大崎の協力で、旬の料理紹介コーナーを開催しました。 ●来場者数：540名

NPO法人古川学人による運営となった2002年に始まった市民交流事業。普段記念館を訪れる機会の少ない方々にも足を運んで頂けるよう、家族で楽しめるイベントを開催しています。

当館の市民交流イベントは、多くの市民・ボランティアのみならず、皆さまに支えられています。謹んで御礼申し上げます。

市民交流事業



吉野作造生誕140年プレイベントとして、前年度に続き、即興芝居・即興コメディのパフォーマンス集団「ロクディム」のライブを開催しました。

ロクディムの即興芝居は、観客から思い思いの言葉を書いた紙を集め、その言葉を繋ぎながら芝居を作り上げていくものです。

今回は大崎市のキャラクター・パタ崎さんも共演し、大人から子供まで大勢の来場者が予測不能のライブに沸き立ちました。

●来場者数：90名

11月26日
即興パフォーマンス集団
ロクディム公演

主催：ロクディム大崎ライブ
実行委員会
協力：吉野作造記念館

12月17日
クリスマス会

来場した子どもたちにはサンタとトナカイからお菓子がプレゼントされました。

紙皿を使ったリースづくり、オリジナル缶バッチ作りなどの工作の他、窓ガラスにテープでクリスマスツリーを描くイベントが行われました。ツリーには子どもたちの願い事が書かれ、会場を彩りました。

ステージは、サークル「カリヨン」の皆さんによるハンドベルコンサート、「おはなしのへや&サンタと歌おうクリスマス」の2幕が行われ、ハンドベルの美しい音色と、子どもたちの元気な歌声が会場に響き渡りました。

その他、吉野作造とクリスマスのエピソードを紹介するミニ展示コーナー、休憩ラウンジでは、ハッピーート大崎が家庭で簡単に作れるアイデア料理を紹介する軽食・休憩コーナーを開きました。

●来場者数：547名

関連記事・生誕記念イベント→P1



平成29(2017)年度開講

吉野作造市民大学講座

2017.04 ~ 2018.03

NO.	単位	内 容	開講日	講 師	
1	1	1 から学ぶ! 吉野作造入門講座	4月23日	小嶋 翔(吉野作造記念館主任研究員)	
2	1	憲法記念日講演会 「日本国憲法と吉野作造—施行から70年—」	5月3日	中林暁生氏 (東北大学大学院法学研究科教授)	
3	4	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」 (全4回)	5月7日 7月2日 9月3日 10月1日	氏家 仁(吉野作造記念館館長)	
4	1	前期企画展オープニングシンポジウム 「これからの子育てをどのようにするのか?」	5月28日	波多野ゆか氏、村上吉宣氏、 君島智子氏他	⇒P4
5	2	郷土史講座 「伊達政宗生誕450年を記念して」(全2回)	6月3日 6月17日	佐藤憲一氏(仙台市博物館元館長)	
6	1	市民講座「お米の品種開発最前線」	7月9日	永野邦明氏(宮城県古川農業試験場長)	
7	2	・第11回人材育成研修会基調講演「憲法改正論議と政局・ 政策論との間—比較憲法史から学ぶべきもの」 ・成果報告会	9月8日 9月10日	大石 眞氏(京都大学名誉教授)	⇒P23
8	2	市民講座「いのちは宝物」(全2回)	10月21日 11月18日	若見朝子氏(大崎自然界部)	
9	1	読売・吉野作造賞受賞者講演会 「民本主義と立憲主義—戦前の日本と戦後の日本—」	11月3日	篠田英朗氏 (東京外国語大学総合国際学研究院教授)	
10	1	第5回吉野作造研究賞表彰式・記念講演会	11月19日	小島秀信氏(同志社大学准教授) 小野寺研太氏(日本女子大学講師)	⇒P23
11	1	後期企画展記念講演「18歳選挙権と政治教育」	12月2日	小玉重夫氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)	⇒P5
12	4	吉野作造基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」 (全4回)	12月3日 1月7日 2月4日 3月4日	氏家 仁(吉野作造記念館館長)	
13	1	1 から学ぶ! 吉野作造入門講座in大崎市図書館	1月14日	小嶋 翔(吉野作造記念館主任研究員)	
14	2	後期講座「宮城県の社会運動と吉野作造」(全2回)	2月24日 3月10日	後藤彰信氏 (元宮城県高等学校社会科教諭)	
計	24				

吉野作造市民大学は、吉野作造記念館友の会の会員向けサービスです。吉野作造記念館で開催される所定の講座・講演会に参加することで単位を取得し、進級・卒業を目指します。進級・卒業には修了証・卒業証書を授与します。友の会会員にはその他多くの特典があります。お申し込みをお待ちしています。

- 2017年度の概況…入学者：37名（うち進級できる方〔6単位以上取得〕：17名）

2018年度 吉野作造記念館友の会 会員募集中!

- 3,000円コース（特典：常設展・企画展・講座・講演会参加無料、記念館行事お知らせ発送）
 - 5,000円コース（特典：3,000円コースの特典+対象グッズ20%引、『吉野作造研究』送付）
- お申し込み・お問い合わせ：吉野作造記念館 TEL 0229-23-7100 FAX 0229-23-4979

Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

1から学ぶ!
吉野作造入門講座

講師：小嶋 翔 研究員

4月23日・1月14日
参加無料

吉野作造について初めて学ぶという方を対象とした入門講座です。吉野作造の業績や人物像などを解説しました。2018年1月は、新装開館した大崎市図書館を会場に開催しました。

参加者数：26名（4月）
19名（1月）



憲法記念日講演会

「日本国憲法と吉野作造

—施行から70年—」

講師：中林暁生 氏

5月3日

2017年度からの新企画として「憲法」をテーマにし

た講演会。憲法学が専門の東北大学の小林暁生先生をお招きし、お話を頂きました。

参加者数・計58名



郷土史講座 「伊達政宗生誕450年を記念して」

講師：佐藤憲一氏
6月3日・17日（全2回）



2017年の郷土史講座は、生誕450年を迎えた伊達政宗と父輝宗・母義姫の絆、政宗が仙台という新たな街づくりにかけた夢を紹介しました。

参加者数・計84名

吉野作造基礎講座 「吉野作造の文章を読んでみよう」

講師：氏家 仁 館長
前期・5月7日（全4回）
後期・12月3日（全4回）
参加無料



2017年度館長講座。一般向けの雑誌などに発表された読みやすい文体・内容の吉野作造の著作を発表当時の原著で読む連続講座でした。

参加者数・計63名（前期）
計55名（後期）

市民講座

「お米の品種開発最前線」

講師：永野邦明氏
7月9日
参加無料



数多くのブランド米を開発している古川農業試験場の永野場長をお招きし、お米の新品种開発の舞台裏を語っていただきました。

参加者数・17名

市民講座 「いのちは宝物」

講師：若見朝子氏
10月21日・11月18日（全2回）
参加無料

大崎自然界部は、大崎市の自然と農業を子どもたちに伝える活動をしているグループです。マガンの生態や、生息環境に関する講座の他、11月には市内の蕪栗沼でマガンの

ねぐら入りを観察しました。

参加者数・13名



読売・吉野作造受賞者講演会 「民本主義と立憲主義 ～戦前の日本と戦後の日本～」

講師：篠田英朗氏
11月3日



第18回読売・吉野作造賞を受賞した「集团的自衛権の思想史」（風行社、2016）の著者・篠田英朗氏をお招きし、講演していただきました。近年話題となることが多い集团的自衛権の歴史的な成り

立ちについて、最も重要な人物の一人であるアメリカのウィルソン大統領を中心に解説した他、アメリカの「南部」と日本の「東北」という地域性からみたウィルソンと吉野作造の比較や共通点などについてもお話を頂きました。

参加者数・33名

講座 「宮城県の社会運動と吉野作造」

講師：後藤彰信氏
2月24日・3月10日（全2回）



2017年度吉野作造市民大学の最終講座。「東北で、東北から、日本の近代を考える」ことをテーマに、1回目は五日市憲法の起草者・千葉卓三郎、2回目は明治時代後半から大正時代にかけての宮城県内の社会運動史を、当時の新聞史料などから読み解く内容でした。

参加者数・計38名
※参加者数は一般参加者も含みます。

その他講演会・出前講座

仙台市民図書館・

吉野作造記念館連携講座

「みやぎの思想と文学」

講師：三條望氏（仙台文学館）

小嶋 翔 研究員

11月2日・9日

会場：せんだいメディアテーク



吉野作造と井上ひさしをテーマとした2回講座でした。井上ひさし氏は吉野作造記念館の名誉館長を務め、吉野と同じ仙台第一高校を卒業、さらに吉野を描いた戯曲「兄おとうと」を手がけるなど、多くの縁があります。2日の第1回は吉野作造をテーマに当館の小嶋研究員が、9日の第2回は井上ひさしをテーマに、

仙台文学館の三條氏がそれぞれ講師をつとめました。

参加者数：計90名

古川東ロータリー

クラブ講演

講師：氏家 仁 館長

1月30日

会場：芙蓉園（大崎市古川）

「人づくり・地域づくりに向けた吉野作造記念館のとりくみ」と題し、学校や地域への積極的な貢献をめざす記念館の取り組みを中心に講演しました。

参加者数：25名

大崎倫理法人会講演

講師：氏家 仁 館長

2月20日

会場：芙蓉園（大崎市古川）

参加者数：40名

宮城いきいき学園大崎校

講師：氏家 仁 館長

2月20日

会場：大崎生涯学習センター

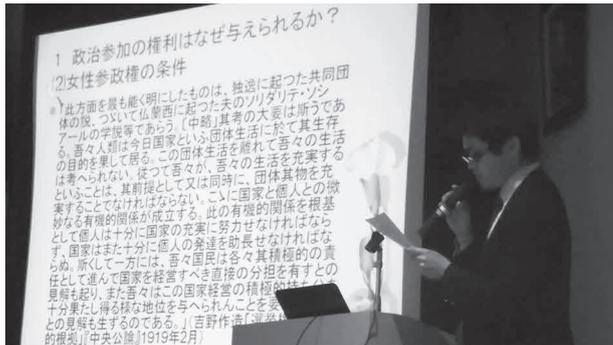
参加者数：36名

吉野作造を学ぶ会

3000回記念講演会

12月9日

参加無料



大崎市古川で長年自主的な読書会を行っている「吉野作造を学ぶ会」の第3000回例会を記念し、同会と記念館合同企画で、小嶋翔当館研究員による公開講演「吉野作造から考える女性の政治参加と選挙―企画展「90年前の清き一票」に寄せて」が開催されました。

参加者数：12名

3000回記念のご挨拶

吉野作造を学ぶ会代表

横山 寛勝

「吉野作造を学ぶ会」の勉強会は本日をもって3000回を迎えることができました。

この会が産声を上げたのは、平成4年の12月。発足当初の会員数は20数名（現在の3倍ほど）、古川駅前ふるさとプラザの一室を借りて、講師による一方的な講義だったと記憶しています。当時から会員は、現在2、3名でしようか。間もなく会場を古川商工会議所に変えて会を続けましたが、会員は漸減していき

ました。これではならぬと反省し、発表は会員が毎回交代で行い、意見交換の時間も設けるなど、全員参加型の学習会へと改善しつつ、今日に至っております。

夏場に実施している研修旅行（フィールドワーク）も、回を重ねて20回ほどになりました。吉野と直接・間接に縁のある場所や機関、建物など、県内外を問わず訪ね、実地研究を行っています。

吉野は初期の文章において、「民本主義」の単語の上

に、カタカナで「デモクラシー」とルビをふっていました。その意味は、政治とは国民の利福の為にこそ営まれるべきで、それには当然、国民の意向を尊重しなければならぬ、との信念でした。行政府と国会、国会と国民のあるべき関係についても、後者が前者をチェックし監督する、という、厳重な責任を課しました。吉野は、国民に対して常に「議會をわがモノにしていますか」と問いかけ続けました。

再度呼びかけたい―今こそ吉野先生提唱の民本主義の原点に返れ、と。

憲法に根拠を置く「立憲主義」、国防とは国の警備をもって「最高限」とするとの平和主義、そして三つに、国際協定主義、吉野はこれら三本柱を、天皇主権下という最も厳しい条件下で、命がけで提唱したのです。

今は、国民主権の時代です。壁は、比較にならぬほど低い。

大崎市立小中学校への 教育普及



古川中学校 開校記念講話

4月17日



2017年で開校70年を迎えた大崎市立古川中学校で、今年も同校の3年生に開校記念講話を行いました。氏家館長が吉野作造のデモクラシー論の意味を紹介しながら、社会に対して貢献することや志をもって将来を展望していくことの大切さを伝えました。

参加者数…193名

今回の開校記念講演会を聞いて、今の日本の民主主義を広めた人が身近にいるという

ことに驚きました。

また吉野さんは周りからの信頼があり、何か行動しようとしたときに助けてもらえる人がいて、人としての手本となる人だと思いました。吉野さんは問題が起こったときに話し合いで解決しようとしていて、今の日本の手本になったのではないかと思いました。今の私は周りに流されやすく吉野さんのような行動がとれていません。これからは正しいと思った意見をしっかりと自分の責任で持っていきたいです。また数年後には自分も国と向き合うことができるということを意識して生活していきたいです。

(佐々木悠嘉さん)

私は、開校記念講話を聞いて、社会での自分の立場について改めて考えました。海外では、16歳から選挙権が与えられるというお話を聞き、同

年代でも、政治や社会にしっかりと目を向け、貢献している人が大勢いるということに気づかされました。ニュースなどで、政治ニュースを観たりすることもありますが、実際、そこまで興味を持っていた訳ではなかったので、政治

古川中学校 ドリームキャリアセッション

9月26日・2月7日



大崎市で活躍する様々な職業の人びとの話を聞いて、自分のキャリア形成を考える。古川中学校の特別授業です。当館の氏家館長は1年生と2年生に向け、働くことを通じた自己実現と社会貢献をテーマに語りました。

参加者数

9月26日(2年生)…11名
2月7日(1年生)…15名

の知識は少ないです。しかし、日本でも選挙権は18歳から与えられています。3年後には、国の決定を左右する1票が自分にあるということを意識してニュースなどを観るようになってほしいです。

(沼倉伶奈さん)

講話を聞いて知ったことは、死は、前からじゃなく後ろから来る、という言葉です。私は、死は前から来るものだと思っていました。でも、人はいつ死ぬのか分からないから悔いが残らないよう、部活と勉強を頑張りたいです。自己実現のために、今後意識していくことは、私は誰にでも優しく接して差別をなくしていきたいです。夢はまだないのですが、これから探したいと思います。社会貢献できるような人になるために、私は今できることを精いっぱいやって、悪いことはやらず、良いことをたくさんしたいです。時に間違ふことはあっても、くじけずに、前に進んでいこうと思います。

(鎌田亜耶さん)

氏家仁先生は命の大切さ、時間の大切さ、人と人の関わり大切さという話をしていました。その話の中では、部活に行かないと体力がつかなくなってしまうための体力がもたなくなると言っていました。僕はこのお話を聞いてしっかり部活をしなくちゃなと思いました。人と人との関わりを大切にしないと会社などで他の働いている人と話せなくなると言っていました。僕は人と話すのが苦手なので、この話を聞いて人との関わりをしっかりとつくっていかうと思いました。

(武藤匠さん)

講師の先生の話聞いて、「吉野作造」はいつも真実とは何か、正義とは何かを求めていた人だということが分かりました。いつもそんなことを求め探し続けたということを知っていて、すごい人だなと思いました。また、何度でも失敗してもあきらめずにやっていった結果、今も本などに言葉がのこっているのだと思います、そういう本を読んでもみたいと思いました。答えのない問題を考えて挑戦するということ言葉がとても印象にのこり、意味深いものだと思います。

(奈良千智さん)

池月小学校見学

10月20日

池月小学校の1年生から6年生までの皆さんが、校外学習で吉野作造記念館に来てくれました。当館の講座室でお弁当の後、常設展示室などを見学しました。

参加者数…59名



古川中学校職場体験

7月3日～5日

古川中学校2年生の皆さんには、学芸員の仕事、受付など、記念館職員の仕事を一通り体験してもらいました。3人とも実習を通し、自分

が将来どのような形で人や社会の役に立つかについてよく考えてくれたようです。

参加者数…3名

.....
 仕事は大変なことも多いですがそれを乗り越えることで楽しいことや嬉しいことがあるということを感じました。また、実際に仕事を行ってみて、大変で疲れることも多かったですが、一つ一つの活動がとても楽しいと思えました。今回の職場体験実習で、私は仕事について、難しく失敗することもあるけれど、何事にも誠実に取り組むことが大切だと深く考えることができました。(青柳友希さん)

.....
 全力で取り組まれていて、社会人のすごさを感じることができました。また、実際に仕事を行ってみて、楽しいこともあるけれど辛いことのほうが多いと思いました。今回の職場体験実習を通して、私は将来のことをあまり深く考えていなかっただったので、良ききっかけとなりました。

(高橋未来也さん)

.....
 一つ一つの仕事を大切に丁寧にしているということを感じ



.....
 しました。接客などの時は、他の人とコミュニケーションを取れたり、パソコンを使ってでき上がった時やりがいを感じて、仕事は大変だけど、楽しいと思いました。初めての仕事を一生懸命やれば成功できてやりがいがあると深く考えることができました。

(千葉昂さん)

古川第三小学校
職場体験

11月29日

古川第三小学校6年生の皆さんには、記念館の展示を紹介するパネルづくりや、クリスマス会の準備などの仕事を

体験してもらいました。

参加者数…4名

.....
 吉野作造のことは知らなかったけど、佐藤さんが詳しく話していたのでとても理解できました。あともう一つは、ぼくは「大正デモクラシー」や「民本主義」という言葉は聞いたことがなくて、あまり理解できませんでしたが、でも佐藤さんが色々なところを回りながら説明してくれたので分かりました。

(相澤健太くん)

.....
 ぼくが体験して一番楽しかったのは、クリスマスツリー作りです。なぜなら、家であのようなことをやったら親におこられてしまうけれど、記念館では、琉生君と協力してできたので、とても楽しかったです。そして、吉野作造記念館ができるまでとか、吉野作造は何をしていたのかなどを知れてとても貴重な体験でした。(加納湧刀くん)

.....
 吉野作造記念館での活動を通して吉野作造さんについてくわしく知れたりしてとても

良かったです。また、表の仕事だけでなく、うらのパンフレット作りもさせてもらえ、良かったです。

(鈴木大喜くん)

.....
 ぼくがこの体験で学んだことは、吉野作造はどういう人なのかとどういうことをしたのかということを知りました。ぼくに吉野作造のことを優しく接して教えてくれて本当にありがとうございます。仕事の大切さ、いそがしさを教えてくれてありがとうございます。(千葉琉生くん)



事業名	参加者数
○ヤングジャパン応援事業 …高校生・大学生の活動を紹介・支援	
・古川黎明高校文芸部見学 (6月3日)	11名 → P14
・岩出山高等学校見学 (11月9日)	5名 → P14
・尚綱学院大学研修会 (1月12日)	12名 → P14
・東北文化学園大学見学 (2月8日)	2名
○元気発信「まちカル」事業 …人的ネットワークの構築を中心として地域を活性化	
・美術教室「つくるぞう石アート」(11月4日)	44名 → P15
・オオサキ映画自主上映会実行委員会の運営サポート	→ P16
・ふるかわ川柳気楽会展 (7月20日～8月20日)	→ P16
○健康増進事業 (NPO 法人ハッピーート大崎との共催)	
・休憩ラウンジを活用した食育・健康増進・教育等の事業 (通年)	→ P15
・大崎市主催事業「脳トレ塾 (脳の健康教室)」への協力 (6月～12月)	→ P15
○被災地支援事業 …東日本大震災の被災地域への支援・支援団体への協力	
・チェロ奏者土田英順氏によるチャリティーコンサート (4月29日・30日)	172名 → P16
・南三陸 SAP への協力	
○キッズ教育支援事業 …県内の小学生・中学生、先生を対象とした教育支援	
・夏休み自由研究サポートし隊！ (8月3日～6日)	2名 → P17
・北浦小学校見学会 (11月22日)	33名 → P17
・Synapse40と協力した教育支援事業	→ P17
○シティズンシップ普及事業 …投票の啓発、民主主義の知識と意義の普及	
・応援企画「選挙に行こう」選挙+plus への参加協力 (通年)	
・高等学校での主権者教育事業	→ P18
・迫桜高等学校 (7月3日)	184名
・塩釜高等学校 (7月11日)	317名
・泉館山高等学校 (10月20日)	280名
・古川学園高等学校 (12月20日)	122名
・ボクラの選挙フォーラム (10月8日)	30名 → P20
○研究会・学会等の受け入れ事業 …研究会や学会への会場提供・コラボレーション企画の実施	
・日本経済思想史学会第28回全国大会 (6月10日・11日)	108名 → P20
・吉野作造記念館・東京女子大学女性学研究所共催シンポジウム「大正デモクラシー期の生活と社会教育—女性への視点を中心に—」(3月25日)	49名 → P20
○平和事業 …「非核平和創造クラブ」を中心とした世界平和に関わる企画への協力	
○東アジア交流事業 …日本と東アジアの架け橋としての役割を担う	
○環境デモクラシー事業 …自然や環境について学び、これからの生活について考える	
○社会貢献事業 …記念館周辺環境美化の活動など	
○寄附金募集、個人会員・企業会員の拡大事業 (通年)	

2017
(平成29)
年度

NPO法人古川学人
事業報告

ご寄附頂いた
皆様のご紹介

(2017年4月1日
2018年3月31日)
公表のご了承を頂いた方のみ
ご紹介させていただきます。



合計	氏名非公表ご希望 3名様	団体様 吉野先生を学ぶ会 様	万城目牧子 様	二郷成子 様	鈴木勝治 様	佐藤憲一 様	佐々木工 様	佐々木一郎 様	後藤昇 様	個人様 (受付順)
138,000円										

NPO法人古川学人へのご寄附

館にて直接ご寄附頂くか、下記振込口座をご利用ください

- ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行から)**
特定非営利活動法人 古川学人 (トクヒ フルカワガクジン)
記号 18170 番号 22846291 総合口座
- ゆうちょ銀行 (その他金融機関から)**
特定非営利活動法人 古川学人 (トクヒ フルカワガクジン)
店名: 二二九 (ニニキュウ)
店番: 229 預金種目: 当座 口座番号: 0142541
- 古川信用組合**
特定非営利活動法人 古川学人 理事 佐藤俊明
(トクヒ フルカワガクジン リジ サトウトシアキ)
古川信用組合 本店 普通預金 口座番号 3406609

NPO法人古川学人では、吉野作造記念館の指定管理事業にとどまらず、「記念館を活用した地域の振興」「吉野作造の精神を受け継ぐ若者の育成」をテーマに、上記のNPO事業を行っています。

これらのNPO事業は、大崎市からの指定管理料とは別に、多くの皆様の善意とご理解に基づく寄附金によって行われています。ここに寄附いただいた皆様に深く感謝の意を表しますとともに、以下のページに2017(平成29)年度のNPO事業をご紹介いたします。

古川黎明高校見学会

NPO法人古川学人 ヤングジャパン応援事業

6月3日

宮城県古川黎明高等学校の文芸部の皆さんが見学に来てくれました。見学と合わせ、当館の氏家館長から吉野作造や、18歳選挙権に関する講話、座談会なども行いました。

参加者数…11名



吉野作造記念館は、私にとって夢を志すきっかけとなった場所でした。なぜなら、中学生の頃、私は職場体験にて、この記念館で二日間お世話になっていたので、学芸員になることを目指そうとしていた当時、この職場体験で数多くのことを学んだことにより、私は館員の皆さんの

様に博物館で歴史に携わる仕事がしたいという思いを確立させました。そして今回、記念館を再び訪れたことにより、自分の「学芸員になりたい」という夢を再確認することができました。

館長の氏家さんは、吉野作造と現代日本の政治を交えて、奥深い話をユーモアも入れながらしてくれましたが、その話しぶりは、私も「いつかはこうなりたい」と思わせるようなものでした。私は人前で発表することは得意ではないのですが、この文芸部で文章力を向上させ、お客さんの前でもあのようにスラスラと言いたい内容を伝えられる人間になっていきたいと強く感じさせられました。ただ、私にとってはコミュニケーション能力が一番の問題なのですが、そこは自力で頑張っていきたいと思います。最後に、今回の見学でお世話になった皆様、本当にありがとうございました。また、ぜひ訪れたいと思います。

(今野翼さん)

岩出山高校見学会

NPO法人古川学人 ヤングジャパン応援事業

11月9日

岩出山高等学校で行われていた「豊かで明るい悠備館市づくり」をテーマとしたより良い社会のあり方や生き方を学ぶ総合的な学習の時間の授業の一環で、同校1年生の皆さんが来てくれました。大崎市の行政に関する調査の一環として、記念館の仕事に関する聞き取りなども行いながら、展示を見学しました。

参加者数…5名

これまで興味をもってこなかった吉野作造について、改めて知ることができました。学芸員の方の説明を聞き、政治家者である吉野作造が日本の民主主義を切り開いた人だと知りました。また、外国の人々と手を取り合い交流を深めたり、病院を建設したりなど、私たちの生活になくてはならない存在だったのだと思いました。

尚絅学院大学見学会

NPO法人古川学人 ヤングジャパン応援事業

1月12日

尚絅学院大学の大崎地区見学研修の一環としてご来館くださいました。講義では、吉野作造の思想の根底に、師である尚絅女学校初代校長フゼルから伝えられた「他者への慈愛」と「社会奉仕の精神」を紹介しました。

参加者数…12名
今回、吉野作造記念館を見

学し、吉野作造の生涯を深く知ることができました。私は高校生の時、歴史の授業でざっとしか勉強していなかったもので、博物館でより細かな所まで見学し、私の知らないかった昔の出来事を理解できました。また、私に通っている尚絅学院大学と深く関係していることに驚きました。ブ



吉野作造記念館は、郷土の誇りである吉野作造の輝かしい業績を未来の人々へ継承するために建設されたこと知りました。普段はあまり気にとめずにいきましたが、このような館が果たしている役割を知ることができたのでよかったです。

(西村凜さん)



ゼルと吉野作造がキリスト教を信仰していることから、私も少しはキリスト教を勉強し、尚絅学院大学の学生であることに誇りを持ちたいと思いました。

(菅原沙也加さん)

吉野作造記念館館北側の休憩ラウンジは市民の憩いの場として、記念館開館時間とはなだでも自由に利用することが出来ます。

また、古川学人との共催により、NPO法人ハッピーイー
ト大崎が食育や健康増進事業
を行っています。健康相談
コーナーでは年間を通じて食
生活の相談や健康啓発事業を
実施しています。

GWイベントやクリスマス
会などの当館市民交流イベン



健康相談コーナー

通年

NPO法人古川学人 健康増進事業

健康相談コーナー&脳トレ塾

トの際は、火を使わずに簡単にできる料理教室を開催しました。また、1月29日の吉野作造生誕140年記念イベント、7月30日の映画「さとにきたらええやん」上映会（オオサキ映画自主上映会実行委員会主催）などの際も企画へのご協力を頂きました。

脳トレ塾 (脳の健康教室)

6月14日～12月6日
主催：大崎市
業務委託：NPO法人
ハッピーイト大崎



脳の健康教室「脳トレ塾」が吉野作造記念館を会場に毎週1回開催されました。吉野作造記念館では脳トレ塾参加者を見学無料とするなどの事業協力を行いました。

6月14日の開講式では、氏家仁館長が登壇し、記念館の概要や、社会福祉事業家としての吉野作造の側面などについて説明しました。



脳トレ塾では、高齢者の認知症予防・健康づくりの学習を通じた社会参加の促進と、自立した生活の継続を目指し、計24回の各種講座を開催しました。参加者は、様々な人たちとお話しや交流することができて、気持ちが明るくなったり、生活に張りが出たなどと語っていました。

NPO法人古川学人 元気発信「まちカル」事業

こども美術教室

つくるぞう石アート

11月4日

吉野作造記念館では、毎年地域の未就学児から小学生までの子どもを対象とした、芸術・工作教室を開催しています。主に県内で活動されている芸術家・造形作家の方々に講師にお招きしています。

2017年度は、大崎市古川を拠点として絵画・造形教室を開催しているイラストレーターの長瀬れい子先生を講師に招き、石アート教室を開催しました。

一人3個の石に、クレヨンや色鉛筆などを使って絵を描いたり、千代紙などを切って水のりで貼り、最後にニス塗ってドライヤーで乾かし、作品を完成させました。

石は、大きいもので10センチ程度あり、子供たちは犬や猫、カニや魚など、思い思いの絵を描いていました。石にニスを塗ってドライヤーで乾かす様子を子供たちは熱心に観察し、色味やキラキラとした光沢が出てくる様子を楽しんでいました。

子どもたちは出来あがった作品を友達同士で見せあうなど、嬉しそうでした。



ど、嬉しそうでした。
参加者数：44名

NPO法人古川学人 被災地支援事業

チェロ奏者 土田英順氏 チャリティコンサート

主催：NPO法人古川学人／大崎コミュニティカレッジ

4月29日・30日



トラでも演奏。現在はソロでご活躍中です。

2012年12月に「じいたん子ども基金」を開設し、震災以来通算380回を超えるチャリティコンサート(2018年2月現在)をこなすなど、精力的に支援に取り組んでいます。チャリティコンサートおよび支援の内容は、土田氏のブログにて随時公開されています。

東日本大震災復興支援に取り組むチェロ奏者・土田英順氏(北海道札幌市)によるコンサート「あなたを、忘れないーところをむすぶコンサート」を、2016年に続き吉野作造記念館で開催しました。

土田氏は日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団首席チェロ奏者などを歴任、ボストン交響楽団およびボストンポップスオーケス

土田氏の「子どもたちに、本物のチェロの音色を聴いてもらいたい」との思いから、小さいお子様連れでの来場にも配慮し、29日は親子向け、30日は一般向けとして開催しました。

来場者数：計172名

NPO法人古川学人 元気発信「まちカル」事業 自主映画上映会への協力



オオサキ映画自主上映会実行委員会とNPO法人古川学人の共催で、自主映画上映会を開催しました。

オオサキ映画自主上映会実行委員会は、大崎市を拠点に映画の自主上映会の企画・運営を行う団体です。NPO法人古川学人は、実行委員会の事務サポートや会場提供などの協力を行っています。

2017年度は吉野作造記念館を会場として、3本のドキュメンタリー映画の上映会が行われました。アメリカ人監督が在日米軍基地の問題を追った「ザ・思いやり」(4月15日)、大阪市釜ヶ崎の児童館を取材した「さとにきたらええやん」(7月30日)、東ティモールの独立を追った「カンターティモール」(10月

14日)の3作品です。

上映会の後には来場者の間で意見交換会が行われました。また7月30日の「さとにきたらええやん」上映の際には、NPO法人ハッピーアート大崎との協力で臨時の託児コーナーを設置し、母子での映画鑑賞をバックアップしました。

来場者数

4月15日…48名
7月30日…31名
10月14日…6名

NPO法人古川学人 元気発信「まちカル」事業 ふるかわ川柳気楽会展

主催：ふるかわ川柳気楽会／共催：NPO法人古川学人
7月20日～8月20日 観覧無料

ふるかわ川柳気楽会との共催事業として、同会の川柳作品展を開催しました。

ふるかわ川柳気楽会は、1985年(昭和60)に設立され、月一回句会を開き、郷土の自然や歴史、普段の生活で感じたことなどを作品にしています。

本展示会では、郷土の偉人である吉野作造を詠んだ句や、郷土の自然・歴史などを詠ん

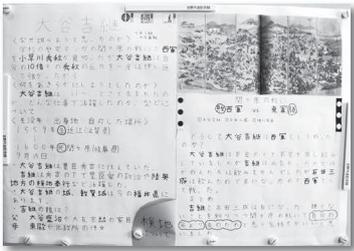


だ句を展示しました。

来場者数：950名

- 土田英順氏の活動と「じいたん子ども基金」について
<http://blog.hokkaido-np.co.jp/enjoy-cello/>
- NPO法人 Synapse40公式サイト
<http://synapse40.wixsite.com/synapse40>





●関ヶ原に散った戦国武将・大谷吉継を調べました。政治家としての業績も詳しくまとめました。

「大谷吉継について」
古川第一小学校6年
手嶋春翔くん



記念館で自由研究をサポートする、夏の恒例企画です。今年も2名が参加しました。

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業

夏休み自由研究サポートし隊!

8月3日～6日



●吉野作造のすごいエピソードをたくさんまとめました。民本主義についてもよく調べています。

「吉野作造について」
古川第一小学校4年
手嶋小雪さん



4月30日
の吉野作造記念館GWイベントと合わせ、本絵本・CDなどの交換会「もったいない寄付!」を行いました。

もったいない寄付!
4月30日

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業

Synapse 40との協力事業

NPO法人Synapse 40(千葉繁美代表理事、以下シナプス)は、地域の子育て・教育支援のため幅広く活動しています。古川学人はシナプスに協力しています。

大崎市図書館でのフォーラム。前半は、古賀正義・中央大学文学部教授の講演「市民性を育む学校教育の役割を考える」、後半は「子ども駄菓子屋プロジェクト」の寄附金贈呈式・修了式が行われました。このプロジェクトは子どもたちが駄菓子屋の企画・出

共生社会の実現に向けた市民フォーラム2017
主催：NPO法人シナプス40
共催：NPO法人古川学人
12月10日

今年も美里町立北浦小学校6年生のみなさんが来てくれました。美里町は、吉野作造と宮城県尋常中学校時代の同級生である文芸評論家・ジャーナリストの千葉亀雄(1878～1935)

NPO法人古川学人 キッズ教育支援事業

北浦小学校見学会

11月22日

や、東京帝大YMCAの先輩だった畜産学者の若住良治(1875～1960)の出身地でもあります。吉野作造について学ぶと共に、美里町が生んだ同じ時代の先人にも興味を持ってくれたようでした。



店・販売を行い、自分達で審査した団体に売上金を寄附するものです。地域社会を知り、寄附を通して自己肯定感を育み、社会貢献の意義を学ぶことを目指しています。
今年度の寄附は、古川支援学校、はまラインの2団体に計10万円となりました。
参加者数：93名



参加者数：33名

NPO法人古川学人 シティズンシップ普及事業 高等学校での主権者教育

吉野作造が、選挙権の拡大と、国民の有権者意識の向上に生涯取り組んだことに鑑み、2016年より新たな有権者となる高校生のための主権者教育事業を行っています。

2017年度は宮城県内の高等学校4校を対象に、主権者教育の授業を行いました。授業を受けた高校生の皆さんのご感想を紹介します。

迫桜高等学校

3年生

7月3日

参加者数…184名



今回の講話を聞き、色々な驚いたことや、なるほどと感じたことがあります。

● 投票に行かないと罰せられる国もある。

● 昔(1890年頃)は、誰が誰に投票したか分かる仕組・日本が最初に20歳から18歳に投票年齢が下がったと思っていた。

● 吉野作造さんが「民本主義」という言葉を使って、「デモクラシー」つまり民主主義の必要性を説いた人だった。(近隣にこのようの方がいたのか)

以上のようなことに驚きや関心を抱き、話を聞いていくうちに、吉野作造さんは理論だけではなく行動でも表し、国際交流や震災復興のために活躍したり、日本のため様々なことを実践され、とても素敵な人だと思いました。

他にも、日本の大事な政治や選挙、社会のことを詳しくお話しいただき、これから大人として日本・社会を背負っていく私たちが、しっかり頑張っていかなければいけない

と思いました。

東北には、日本の民主主義を進めるために活躍した人が多く、その中のひとりに吉野作造さんがいる。民主主義とは、私たちが自分で自分の生活を決めたり、意見を伝えることができ、その義務があるということ。今の日本の民主主義の土台となっていることの多くは、吉野作造の考えが大いに関わっていることを感じた。民主主義を実現・実行するには、私たちが自ら選挙に行き投票することが必要であるということを学んだ。

塩釜高等学校

3年生

7月11日

参加者数…317名



選挙について何も知らないまま18歳を迎えようとしていましたが、講話を聞いてきちんと知ろうと思えました。投票できる年齢が20歳から18歳になったのは、若い人にも日本の未来を考えてほしいという願いもあると思います。講話の中で、投票率のグラフを示して頂きました。10代の投票率が思っていたより高かったことには驚きました。しかし、宮城県の投票率が低かったのは残念でした。もっと一人一人が責任を持って投票に行くべきだと思いました。また、「日本の未来が明るいか」についてのアンケートでは、他の国に比べて低く、一番割合の高かったスウェーデンの半分であったことも非常に残念でした。このことから、選挙権を得たばかりの日本の未来を担う若者が、きちんと選挙について知り、投票しなければならぬと強く思いました。私もきちんと選挙について知り、18歳を迎えたら、日本の未来を担う意識をもち、一人の有権者として投票したいと思います。

● 若者の投票率が低いということは知っていましたが、10代が20代を上回る投票率であるということに驚きました。10代は、学校で勉強したり先

生から言われたりすることも多いから高くなりますが、20代になると、投票に対する意識が薄れてしまうのだと思いました。今の日本は少子高齢化が進み、高齢者の意見が多く反映されたり、高齢者に対する対策が多かったりしますが、日本の未来を担っていくのは若者なので、若者が自分の意見をしっかりと持って、反映されるように投票に行くべきだと思います。また、国民に投票させるということは、私たちにも関わりの深いことだという意味だから、自分のことは自分で決めるといふことで、しっかりと考えて自分の行動に責任を持たなければなりません。また、吉野作造や原敬については習ったことがありましたが、本日の講話で、それ以外にも東北地方は、民主主義のために活躍した人が多いということを知ることができ、さらに調べてみたいと思いました。私はまだ18歳ではないので、投票には行けません。が、将来、「一人くらい」や「これでいいか」というように軽く考えてしまう「無恥な大衆」にならないように、選挙の場を自分の意見が活かされるチャンスと捉え積極的に投票したいと思いました。

泉館山高等学校

2年生

10月20日

参加者数：280名



今回の講演では、中学校の時に習った公民や日本史の内容を含んだ分かりやすく丁寧な説明を聞くことができました。正直、その内容が頭から抜け、「そんなこともあったな」と思い出すようなことばかりで、自分はまだまだ選挙に関心が足りないと感じました。選挙権が18歳まで引き下げられ、私たちが選挙に参加する日がそう遠くないことを考えると、このままではいけないことに気づかされました。先生がおっしゃった、「若い人が投票しなければ政治は変

わらない」という言葉がとても印象的でした。自分で自分の生活を決定していく責任がある以上、他者・社会に無関心である若い人がたくさんいる現状を抜け出さなければいけないと思います。自分たちが望むことを届けることに、選挙の意味があることを忘れないようにしたいです。講演を聞き終えた今、私がすべきことは今の社会がどうなっているのか、そしてこれからの未来をどうしていくべきなのかをしっかりと考え、選挙にちゃんと向き合うことだと思いました。(針生美咲さん)

吉野作造の民本主義を通じて、選挙についての意義や考えを知ることができました。1925年に普通選挙法が制定され、時代とともにその選挙法は変化し、2015年6月には選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。それにもかかわらず今現在の投票率は54・6%と低く、特に若い世代の投票率がとても低いことが目立ちます。選挙で投票することは、政治に参加することにもつながります。そして選挙で選ばれた政治家は、国民を代表し、

全体を考えて話し合いを調整し、これからの社会づくりに取り組む役割を持っています。吉野作造は「私たちは自分で自分の生活を決定していく責任がある」と述べているので、まずは他者や社会への無関心をやめる必要があると思います。選挙前には、新聞などで各政党ごとの公約がまとめられているので、それらを活用し、18歳になったら、選挙を通じて自分が政治に望むことを届けられるようにしたいです。(菊地桃子さん)

古川学園高等学校
(講話・記念館見学) 3年生

12月20日

参加者数：122名



私は館長さんのお話しの中で、若年層の投票率の低さについての部分に興味を持ちました。投票を通じて日本の政治に自分の意見を反映させることが出来る貴重な機会なのに、どうしてそれを放棄してしまうのか疑問に思います。「誰が当選してもどうせ同じこと」と思ってしまいかも知れませんが、そんなことでは本当に一部の人の考えだけで政治が動いてしまうのではないのでしょうか。有権者はきちんと投票を行うべきだと思いますし、これからの日本を支えていく私たち若い世代はなおさら他人任せにせず、積極的に政治に参加していくべきだと思います。(千葉しずくさん)

私は古川の出身ではありませんが、地元からこのような偉大な方が輩出されているというのを改めて誇りに思うようになりました。館長さんからのお話で印象的だったことは「若いときの投票率は、年をとってから変動しない(若い頃に投票しなかった人は年をとってから投票しない傾向にある)」ということでした。「今の自分

の生活に関係がない」とか「よく分からないから」などという理由で政治に無関心であるのではなく、自分たちのこれからの生活について、自分たちで考え、悩んで、決めていくということが大切だと思っています。また、今回の選挙だけでなく、これからも政治に関心を持って次回以降の選挙にもきちんと投票していくということが大切だと感じました。(大内優未子さん)



NPO法人古川学人 シティズンシップ普及事業 ボクらの選挙フォーラム

10月8日

企画展「90年前の清き一票」の開催初日であるこの日、NPO法人古川学人の主催により、若者が選挙や政治を語り合う「ボクらの選挙フォーラム」を開催しました。
第1部では当館の氏家仁館長が「デモクラシーと主権者教育」と題し、吉野作造が論じた民主主義の考え方をテーマに講演しました。

第2部は「大崎から平成のデモクラシーについて考える」と題してパネルディスカッションを行いました。高校1年の岩佐遼介さん、大学生の森田純一さん、元おおさき青年会議所理事長の伊藤眞氏、NPO法人おおさき地域創造研究会の小玉順子氏、中

NPO法人古川学人 研究会・学会等の受け入れ事業 日本経済思想史学会大会

6月10日・11日

日本経済思想史学会の第28回全国大会が、吉野作造記念

館の共催で、当館を会場に開催されました。



10日の公開シンポジウムは、大正期の経済思想―吉野作造とその周辺―では、武藤秀太郎氏（新潟大学）「堀江帰一と吉野作造―中国との関わりを中心に」、山本長次氏（佐賀大学）「武藤山治と吉野作造―温情主義経営と労働問題に関する議論をめぐって」、田中秀臣氏（上武大学）「住谷悦治と吉野作造―東大講義から『閑談の閑談』まで」の3つの報告があり、大川真氏

島源陽・宮城県議会議長が登壇し、選挙教育や若者の政治との関わり方について活発な議論が行われました。

参加者数・30名



（中央大学）司会により一般の参加者も交え議論が行われました。11日は自由論題報告（非公開）として6名による研究報告が行われました。
翌12日には記念館職員のご案内で、名取市閉上の被災地巡見も行われました。

参加者数・108名

●吉野作造長男・吉野俊造氏の御夫人である吉野恆子氏（東京都調布市）が2018年1月12日に逝去されました。
恆子氏には、孫文が吉野作造に贈った書「天下為公」や「黄興と同志の寄せ書き」等、2016年に大崎市文化財に指定された20点を含む多くの貴重な吉野作造関係資料をご寄贈いただいたほか、2011年の東日本大震災に際しては、当館への御見

NPO法人古川学人 研究会・学会等の受け入れ事業 シンポジウム 東京女子大学女性学研究所共催 大正デモクラシー期の生活と社会教育 ―女性への視点を中心に―

3月25日



東京女子大学女性学研究所プロシエクト研究「生活と社会教育―女性への視点を中心に―の観点を中心とした一環として、吉野作造記念館と東京女子大学女性学研究所の共催で開催しました。

研究報告として、栗田啓子氏（東京女子大学教授）「新渡戸稲造の『ホーム』概念と女性教育―『新女界』・『婦人舞ならびに御寄附を頂くなど、御主人の俊造氏が亡くなられた後に至るまで並々ならぬ御高配を賜りました。生前の御厚意に深く感謝いたしますと共に、謹んで哀悼の意を表します。』」からパネリストに対し質問が行われ、一般参加者も交えた議論が行われました。

参加者数・49名

●田中昌亮・元吉野作造記念館館長が2018年3月22日に逝去されました。田中氏は当館開館前から資料の収集・調査など多大な貢献をされ、館運営がNPO法人古川学人に委託

された2002年4月から2011年7月まで、館長として研究と市民サービス向上の両輪で事業の充実に努めました。
謹んで哀悼の意を表します。

吉野作造記念館

館長 氏家 仁

特定非営利活動法人古川学人

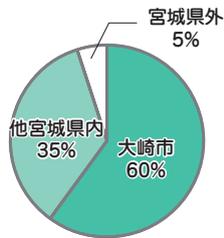
理事長 佐藤 俊明

2017(平成29)年度 吉野作造記念館 アンケート集計結果のご紹介

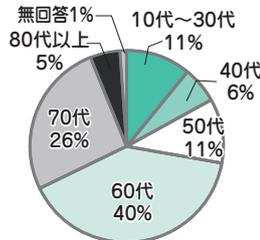
平成29年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介します。
当館では今後も常時ご意見・ご感想を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

●集計数 **471名** (内訳：企画展、講座、GW イベント、クリスマス会、各種講演会) ※平成30年3月31日時点

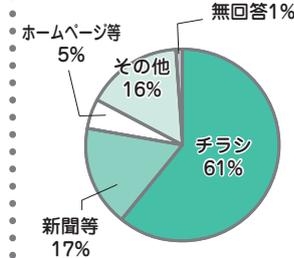
お住まいは
どちらですか？



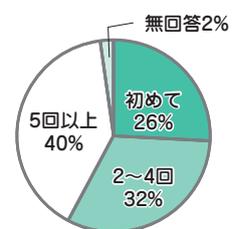
年代を
教えてください。



当館の情報を何で
お知りになりましたか？



来館回数を
教えてください。



※一部複数回答含む

お客様からのご意見・ご要望および改善・対策 ※抜粋

見学やイベントに参加してみたのご感想

- 大きなホールでの演奏も良さはありますが、この位のホールで間近で演奏を聴く機会とはとても希少でありがたく思います。…………… (土田英順氏チャリティーコンサート→P16)
- 憲法記念日にふさわしい内容でした。吉野と日本国憲法の関係性を知ることができました。…………… (憲法記念日講演会→P8)
- はじめての参加でしたが、子ども達の喜ぶ顔をみることができ、大変良かった。…………… (GWイベント→P7)
- スタートにピッタリの内容で、深い学識に基づきながら、初心者も十分理解できる話し方で時間のたつのも忘れる程でした。…………… (1から学ぶ！吉野作造入門講座→P8)
- 見ごたえのある展示室でした。講演も大変参考になり、新幹線できた甲斐がありました。難しい内容もかみくだいて話されていてよかった。…………… (読売・吉野作造賞受賞者講演会→P9)
- 学会シンポジウムを市民に公開していただく企画は素晴らしい。…………… (日本経済思想史学会公開シンポジウム→P20)
- 伊達政宗について一番詳しい佐藤先生のお話を聞いて、大変有意義でした。…………… (郷土史講座→P9)

お客様のご要望に対する改善について

- フリマの制服を目当てに来ましたが無くて残念でした。…………… (GWイベント→P7)
☞子育て応援フリマを企画しましたが、提供の物品が集まらず予定していたものが揃いませんでした。今後は回収方法や開催の仕方を検討いたします。
- 吉野作造のことをよく知らない方にもその価値に気付いてくれるよう足を運んでいただけるといいなと思います。…………… (後期企画展→P5)
☞展示の他に、来館者を増やすために家族参加のイベント・小学生対象の芸術教室・入門講座など年に数回開催しています。吉野のことを知っていただけるきっかけづくりの事業を今後も行っていきます。
- 会場が暑かった。…………… (前期企画展オープニングシンポジウム→P4)
☞申し訳ございませんでした。調整対応いたしますので職員にお申し付けください。
- 平日の講座開催もあると参加しやすい。…………… (はがきアンケート)
☞参加しやすい日程の調整を検討いたします。

今後して欲しい企画について

- 音楽コンサート 人形劇
- 吉野先生の人柄が見える「人物像」がテーマの企画展を希望します。
- 県北の「先人」を中心に取り上げてほしい。
☞みやぎの先人展「吉野作造と千葉亀雄」を開催しました。…………… →P6

2017(平成29年度)

吉野作造記念館利用状況

入館者・利用者数

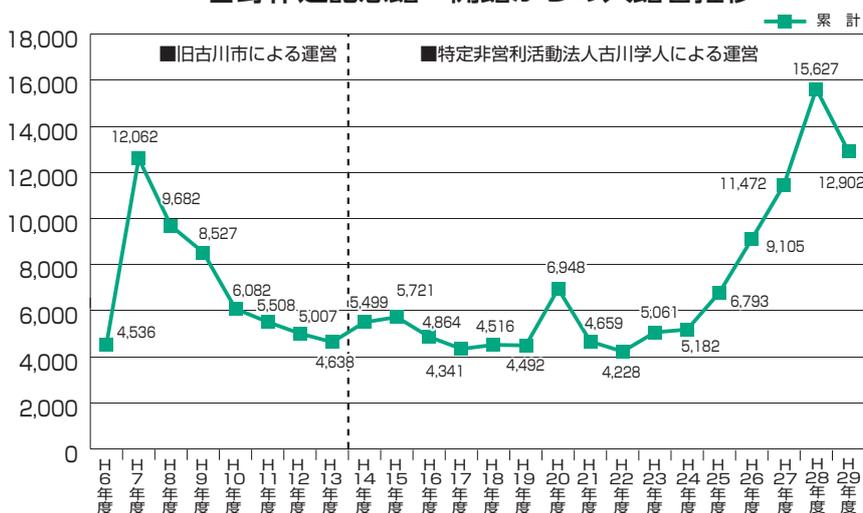
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

12,902名

出前講座 1,225名
(12件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,517	724	976	1,454	1,211	1,123	1,152	1,124	1,309	886	679	747

吉野作造記念館 開館からの入館者推移



平成29年度 会場使用料 (講座室127件・研修室7件 ※3月末)

(単位：円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
36,360	22,440	39,540	52,380	39,660	64,020	33,300	43,020	23,520	34,620	32,940	33,240

平成29年度 物品販売

(単位：円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5,780	19,188	28,320	10,000	10,762	10,360	8,762	13,188	19,524	49,870	25,868	99,948

メディア等での 記念館紹介

(平成29年4月1日～
平成30年3月31日)

120件

おもなメディアでの紹介

2017.5.4	河北新報 「憲法記念日講演会 講師：中林暁生氏」
2017.8.3	朝日新聞 「見聞録『吉野作造今も故郷を鼓舞』」
2017.10.22	大崎タイムス 「石アート体験 こども芸術教室「つくるぞう」開催」
2017.10.22	朝日新聞 「第1回普通選挙 物語る展示」
2017.12.12	河北新報 「現実の政治問題 学校現場に一大崎・東大小玉教授が講演」
2018.1.10	朝日新聞 「吉野作造生誕140年「オリジナル珈琲」」
2018.2.1	大崎タイムス 「吉野作造生誕140年祝う 古川 生家跡地でイベント」
2018.2.7	河北新報 「吉野作造どんな人？ 大崎 生誕140年記念し初検定」
2018.2.21	ミヤギテレビ 「OH! バンデス」

2017(平成29)年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいた皆さま

宮城誠真短期大学 様	古川高校合唱部 様	宇津木 浩 恵 様
吉野先生を記念する会 様	柳 原 榮 夫 様	高 橋 真 美 様
四季彩通商店街振興組合 様	二 郷 成 子 様	
幸福十番館「はっぴい」 様	高 橋 憲 夫 様	
NPO 法人 Synapse40 様	粟 野 敏 夫 様	
NPO 法人ハッピーート大崎 様	若 見 朝 子 様	
サークル「カリヨン」 様	宇津木 博 様	

吉野先生を記念する会(高橋憲夫会長)の柳原榮夫さん、二郷成子さんには、記念館前の「古川学人吉野作造之碑」および、施設の補修と美化を行っていただきました。

心より御礼申し上げます

第5回

吉野作造研究賞 表彰式

11月19日

〈最優秀賞〉

小島 秀信

『伝統主義と文明社会
—エドモンド・バーク
の政治経済哲学』

(京都大学術出版会、2016年3月)

小野寺研太

『戦後日本の社会思想史
—近代化と「市民社会」
の変遷』

(以文社、2015年6月)



小島秀信氏



小野寺研太氏

吉野作造記念館では、吉野作造が終生後進の育成に取り組んだことに鑑み、若手研究者の育成と吉野の精神の継承、吉野研究の裾野の拡大を目的とした「吉野作造研究賞」を設けています。応募資格は募集年次の4月1日時点で40歳以下の方、対象となるのは政治史・政治思想史等を主題とし、未発表か、もしくは募集年次の3月末日から過去2年以内に刊行・発表された著作・研究論文です。

○審査委員長 宇野重規氏
(東京大学社会科学研究所教授)

○審査委員 村井良太氏
(駒澤大学法学部教授)

○審査委員 大川真氏
(中央大学文学部准教授)

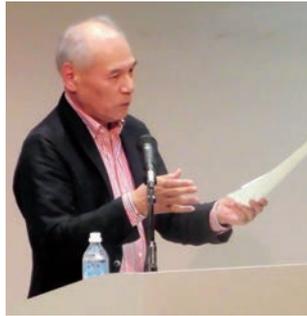
※役職は2018年3月現在
.....

第5回吉野作造研究賞は、小島秀信氏(同志社大学准教授)、小野寺研太氏(日本女

第11回吉野ネットワーク

人材育成研修会

9月8日～10日



大石眞氏講演(9月8日)

吉野作造を通じた全国的なネットワークの構築を目指し始まった人材育成研修会は、第11回となりました。2017年は東北大学、慶應義塾大学、新潟大学、同志社大学、駒澤大学、京都大学から計17名の学生が参加しました。全体テーマは「日本国憲法70年と明治150年」。初日8日の基調講演は大石眞・京都大学名誉教授による「憲法改正論議と政局・政策論との間―比較憲法史から学ぶべきもの―」でした(一般公開)。

場所を鳴子温泉農民の家

子大学講師)の上記2作品が最優秀賞となりました。選考理由の詳細は「吉野作造研究」第13号をご参照ください。11月19日の表彰式・受賞者

記念講演会では、審査委員長・宇野重規氏による講評、小島・小野寺両氏による受賞記念講演を頂きました。表彰式来場者数・18名



に移した9日は、奈良岡聰智・京都大学教授、村井良太・駒澤大学教授による「明治150年を考える」、荻部直・東京大学教授による「吉野作造と明治維新・帝国憲法体制」の講義、最終10日は記念館にて成果報告会(一般公開)を行いました。

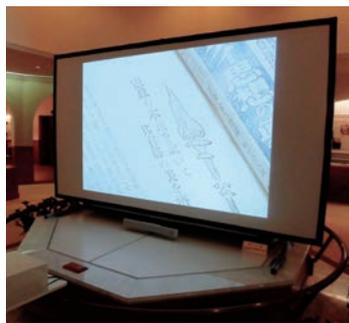
各講義録は「吉野作造研究」第14号に掲載予定です。

一般公開来場者数 計134名

御礼申し上げます

株チバミン様

2015年9月、記念館環境整備のため大崎市に100万円を御寄附頂きました。寄附金は老朽化し破損した当館常設展示室映像設備の復旧にあてられ、2018年1月工事が完了しました。



我妻建設株様

2017年6月、屋根つき駐輪場をご寄贈頂きました。





吉野作造記念館
館長

氏家 仁

吉野作造生誕140年に寄せて

1878(明治11)年1月29日の吉野作造生誕から、今年で140年となりました。日本のデモクラシーの発展に大きく寄与した吉野作造。彼のデモクラシー思想やその背景、残したものを深く学び、考え、現在と将来に生かすことを、日本や世界の現状は求めています。

当館開館前年の1994(平成6)年1月31日、第3回古川21フォーラムにおいて当時の中川俊一旧古川市長は「吉野博士の功績を全国に発信し」「吉野博士の提唱したデモクラシー精神を今後もまちづくりの基本に据えてまいりたい」と述べています。そして伊藤康志大崎市長は、2017年のNPO古川学人総会にて「吉野作造記念館から日本に世界に吉野先生を大いに発信して貰いたい」と、記念館への期待を寄せられました。

今年3月宮城県教育委員会が発行した「みやぎの志教育」のための副教材『みやぎの先人集第二集「未来への架け橋」』に、吉野作造が取り上げられました。志教育とは「小中高等学校を通じて、人と社会でのかわり社会性や勤労観を養い集団や社会の中で、果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのより良い生き方を主体に求めていく教育」とされています。吉野作造記念館も志教育をふまえ、企画展「吉野作造と千葉亀雄」を皮切りに今後も先人たちの顕彰と発信を通じて教育に貢献していく所存です。

「人は財なり」といいますが、吉野作造生誕140年にあたり、その精神を人づくりに活用する契機とするこの意義は大きいでしょう。

YOSHINO ORIGINAL COFFEE

発売!



2018年1月28日の生誕記念イベントに合わせ、記念館では新グッズ「YOSHINO ORIGINAL COFFEE」の販売を開始しました。お汁粉のアズキと地元のお米を隠し味にブレンドしたオリジナルコーヒーです。

吉野作造が留学中にウィーンで購入したとされるコーヒーカップ(2016年大崎市文化財指定)をパッケージにデザインしています。

吉野自身コーヒーは好きだったようで、特に留学中ドイツのベルリンに滞在した頃はカフェに足しげく通い、学友たちと談議に花を咲かせたことが日記からうかがえます。

コーヒーは記念館受付の他、当館ウェブサイトからお買い求めいただけます(10袋〜)。

1袋 180円 10袋 1,800円
※館内でもお飲み頂けます(1杯200円)

高校生 デモクラシー塾

~自分の進路と
未来を考える~

- 期間(第1期): 2017年12月~2018年9月
(全15~20回の講座・講演会を予定)
- 参加費: 無料 ● 対象: 高校1~3年生
- 定員: 25名 ● 申込・お問合せ: 吉野作造記念館まで



○これまでのおもな講座・講演会

- 第1回(2017年12月2日)講演会「18歳選挙権と政治教育」
(講師:小玉重夫・東京大学大学院教育学研究科教授)
- 第2回(2017年12月10日)
「共生社会の実現に向けた市民フォーラム2017」
(NPO法人 Synapse40・NPO法人古川学人共催)

18歳選挙権により高校生の主権者教育(シティズンシップ教育)の重要性が高まっていることから、吉野作造記念館では2017年度より「高校生デモクラシー塾」を開始しました。

「政治参加」「地域と教育」「社会福祉」「震災復興」「歴史」「国際関係」など、記念館で開催される多様なテーマの講演会・講座を学習に活用し、政治や社会への関心を深めることを目指します。大学のような専門的学問に触れることで、将来の進路を考える機会にもなります。関心のあるテーマについて調べ、発表・議論をする「課題研究」もあります。修了式では課題研究の報告会を予定しています。入塾は随時受付、途中入塾も歓迎します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

吉野作造記念館

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3

TEL 0229-23-7100

E-mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

URL https://www.yoshinosakuzou.info/

利用案内

開館時間	9時~17時(入館は16時30分まで)			
入館料	区	分	常設展	企画展(常設展含む)
			個人	個人
			団体(20名以上)	団体(20名以上)
	一般	310円	250円	500円
	高校生	210円	160円	300円
	小・中学生	100円	80円	200円
休館日	月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館日) 年末年始(12月29日~1月3日)			

平成29年度 YOSHINO サポーター

<p>0120-808-878 見精</p> <p>有明社 千田清博 お気軽にお問合せください 無料</p> <p>ペンリー宮城古川店 Benry</p>	<p>つなぐ、ひびく、ひろげよう、笑顔。</p> <p>100th ANNIVERSARY</p> <p>2018年3月16日 創立100周年を迎えます</p> <p>賛育会</p>	<p>人・街・くらし 明日のコordinator</p> <p>MURATA CORPORATION</p> <p>株式会社村田工務所</p> <p>URL: http://www.murata-kousyusyo.com</p>	<p>ふるしんは、地域に根ざしたコミュニティ・バンク</p> <p>ふるしん 古川信用組合</p> <p>宮城県大崎市古川十日町7-8 電話 0229-22-1069</p>	<p>地域と共に 住いと共に 152年</p> <p>株式会社 チバミン</p> <p>電話 0229-22-0291</p>
<p>株式会社 北都開発</p> <p>〒989-4116 大崎市古川東1丁目13-57 電話 0229-24-0011</p>	<p>株式会社 佐藤酸素</p> <p>〒989-4223 大崎市古川東1丁目13-57 電話 0229-28-2312</p>	<p>株式会社 株氏家建築設計事務所</p> <p>〒989-4004 仙台市青葉区若木三丁目9番27号 レンズビル201号 TEL:022-224-3371 FAX:022-224-7881</p>	<p>やればできる</p> <p>内藤印刷株式会社</p>	<p>看板のこたなら</p> <p>株式会社 美研</p> <p>大崎市古川城西1丁目1-10 電話 0229-22-1816</p>
<p>株式会社 アクセス</p> <p>若見自動車</p>	<p>株式会社 共同システムサービス</p>	<p>書道教室 遊山社</p>	<p>古川ガス株式会社</p>	<p>あ・ら・伊達な道の駅</p>